

【レポート】

18th International Congress on Thermal Analysis and Calorimetry
(ICTAC2024) 報告

18th International Congress on Thermal Analysis and Calorimetry (ICTAC2024 : 2024 年 9 月 2 日～7 日) は, Prof. Ramesh L. Gardas (Indian Institute of Technology (IIT) Madras, India), Prof. Jitendra S. Sangwai (IIT Madras, India) 及び Prof. Ranjit Verma (Magadh University) を実行委員長として, 14th National Conference of the Indian Thermodynamics Society (ITS) との共同開催で IIT Madras (インド共和国チェンナイ) にて開催された。会場の IIT Madras は熱帯樹木の生い茂った場所に建設されており, キャンパス内には鹿や猿をはじめとする野生動物も多く生息するなど豊かな自然を身近に感じられる環境であった。会期中, 受賞講演 (12 件), 基調講演 (3 件), 10 分野 (Track 1: Thermodynamics, Thermochemistry & Thermophysical Properties, Track 2: Kinetics, Catalysis, Energy and Fuels, Track 3: Materials, Instruments & Methods, Standards & Nomenclature, Track 4: Bioproducts, Biofuels, Biomaterials, Industrial Biotechnology, Track 5: Engineering Materials, Polymers and Biopolymers, Track 6: Ecology, Environmental Protection and Green Chemistry, Track 7: Pharmaceutical and Medicinal Chemistry, Track 8: Sustainability, Recycling and Circular Economy, Track 9: Life & environmental Sciences, and Education, Track 10: 14th National Conference of the Indian Thermodynamics Society,) における招待講演 (61 件), 口頭発表 (152 件) 及びポスター発表 (103 件) に加えて 3 つの Workshop が実施されるなど, 多数の研究報告が行われた。日本からは, 堀田会員 (広島大学) の ICTAC Travel Grant Award 受賞講演をはじめとする 13 件の研究発表が行われた。また, ポスター発表にて堀田会員に Best Poster Award が授与された (写真 1)。堀田会員の受賞を心よりお祝いいたします。

1 日目 (9 月 2 日) は, Symposium on Application of Thermal Analysis and Calorimetry (SATAC-2024) が開催され, 6 件の招待講演が行われた。2 日目 (9 月 3 日) は, Inauguration に引き続き, Prof. Jiri Malek による “Universality of Master Plots in Thermal Analysis” と題した Robert Mackenzie Memorial Award Lecture により開催された。その後, TA Instruments の支援を受けた TA instruments-ICTAC Award が Chi-Min Shu 氏 (Taiwan) に授与され, その受賞講演に加えて 1 件の基調講演が行われた。午後は, 2 件の招待講演及び ITS の受賞講演 4 件がメインホールで行われ, それに並行して 3 会場を利用して口頭発表が行われた。また, ポスターセッション (Track 1 (35 件), Track 6 (3 件), Track 8 (3 件) 及び Track 10 (8 件)) で議論が交わされた。その後, Industry Slot において, 有井氏 (リガク) の報告を含む 3 件の招待講演と Thermodynamics & Thermochemistry committee 及び Kinetics committee による Workshop がそれぞれ開催された。その後, IIT Madras キャンパス内の野外会場に移動し, ステージ上で披露される伝統舞踊を鑑賞しながらの会食により参加者同士の友好を深めた。3 日目 (9 月 4 日) は, 2 件の基調講演の後, ICTAC Young Scientist Award が Rigaku の支援の下, Rigaku-ICTAC Young Scientist Award として Jipeng Luo 氏 (China) に授与され, 受賞講演が行われた。休憩の後, ICTAC Promising Researcher Award :



写真 1 Best Poster Award を受賞された 堀田実社会員



写真 2 エクスカーションで訪れた Mahabalipuram にて

Birgit Mets 氏 (Estonia), ICTAC Travel Grant Awards : Tadas Dambrasukas 氏 (Lithuania), Kylian Hallavant 氏 (France), Mito Hotta 氏 (Japan), Francesca Saitta 氏 (Italy) の授賞式と受賞講演が行われた。また, 並行して 17 件の一般発表が行われた。午後は, 4 つの会場を用いて招待講演 (15 件) 及び 27 件の口頭発表により議論が展開された。その後, 2 日目と同様に口頭発表の合間にポスターセッションが開催され, Track 2 (19 件), Track 3 (9 件), Track 4 (3 件), Track 5 (15 件), Track 7 (4 件) のポスター発表が行われた。4 日目 (9 月 5 日) は, 招待講演 (13 件) 及び 24 件の一般発表が行われた。昼食の後, 世界遺産の 1 つである Mahabalipuram を訪れ, 巨大な 1 枚岩に施された彫刻や寺院など南インド地方の文化や歴史に触れた (写真 2)。5 日目 (9 月 6 日) は, 招待講演 (27 件) 及び一般公演 (51 件) で議論が繰り広げられるとともに Education committee による Workshop が開催された。全ての講演の終了後, 予定よりも 1 日繰り上げて Closing Ceremony が行われ, ICTAC2024 は閉会となった。

会期中に開催された ICTAC General Assembly においては, Prof. Luis A. Perez-Maqueda (Spain) の ICTAC 会長就任が決定された。また, ESTAC14 がクロアチア (2026 年), 19th ICTAC が 2028 年にフィンランドにて開催されることがそれぞれ発表された。

(防衛大学校 山田 秀人)